



For Sustainable Development

TAKEEI CORPORATE PROFILE



株式会社タケエイ
〒105-0011
東京都港区芝公園二丁目4番1号 芝パークビルA-10階
TEL.03-6361-6830 (代)
FAX.03-6361-6835



環境大臣認定
エコ・ファースト企業

<https://www.takeei.co.jp/>



TREホールディングス株式会社
〒100-0004
東京都千代田区大手町一丁目7番2号 東京サンケイビル15階
TEL.03-6327-2620 (代)
FAX.03-3277-3273



<https://tre-hd.co.jp/>

印刷における環境配慮



環境を守ることは、未来を守ること。

Contribution for a Sound Material-Cycle Society

タケエイグループは
人と環境との豊かな共生のために
「資源循環型社会」の創造に貢献します。

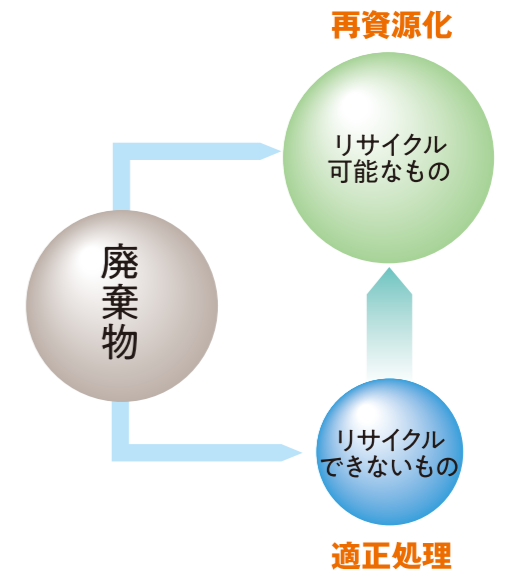
「環境の世紀」といわれる今世紀、地球温暖化防止・自然破壊抑止など、地球規模での環境保全の取り組みが国際的に大変重要な課題となってきました。そして、経済大国としての責務を負うわが国では、企業の社会的責任として、「環境にやさしい」産業活動が常に求められています。建設系廃棄物処理の専門企業としてスタートした私たちタケエイグループは、お客様から受け入れた廃棄物の厳格な処理を心がけると同時に、廃棄物処理に関するアドバイスやコンサルティングも行っています。また、内外との連携を深め、さらなる再資源化の可能性や新しい技術の研究開発も推進しています。近年は、東日本大震災からの復興に向けた未来志向の取り組みとして、地域と一体となって木質バイオマス発電の事業を拡充していきます。

タケエイグループは、「総合環境企業」としてこれからの100年を見据え、地域社会や自然と共生しながら、資源循環型社会への貢献と地球環境保全に向けて、さまざまな取り組みを進めてまいります。

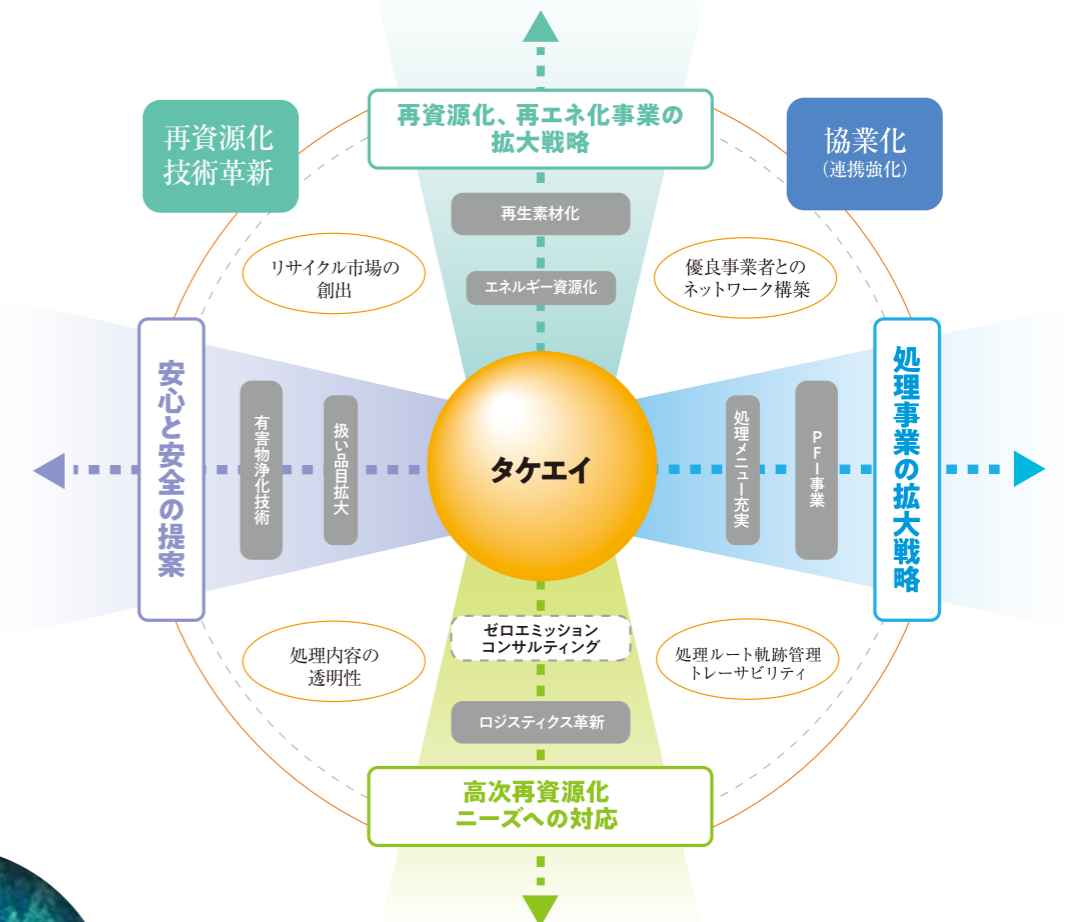
※Contribution for a Sound Material-Cycle Societyとは、当社の経営理念である「資源循環型社会への貢献を目指す」という意味です。
※表題、For Sustainable Development とは、「持続可能な発展のために」を意味します。現代の世代が、環境保全を十分に考慮し、将来の世代の利益や要求を充足する節度ある社会発展を目指す考え方で、環境保全についての基本理念として、国際的に認識されています。

株式会社タケエイは
廃棄物処理のリーディングカンパニーとして
「街の風景」を支え続けます。

株式会社タケエイは、建設現場から発生する廃棄物について、リサイクルを中心とした処理事業を首都圏で展開しています。そして「収集運搬～中間処理・リサイクル～最終処分」までの一貫処理体制をいち早く確立するなど、1967年の創業以来、廃棄物処理業界をリードしてきました。2007年5月30日（ゴミゼロの日）には東京証券取引所に上場。これを機に、社会の一員としての意識をより強く持ち、CSR（企業の社会的責任）やESG（環境・社会・企業統治）など、世界基準の要請に応えられる企業となるべく、体制強化に努めてまいりました。廃棄物処理のリーディングカンパニーとして、これからもより高度な廃棄物処理・リサイクル事業を推進してまいります。

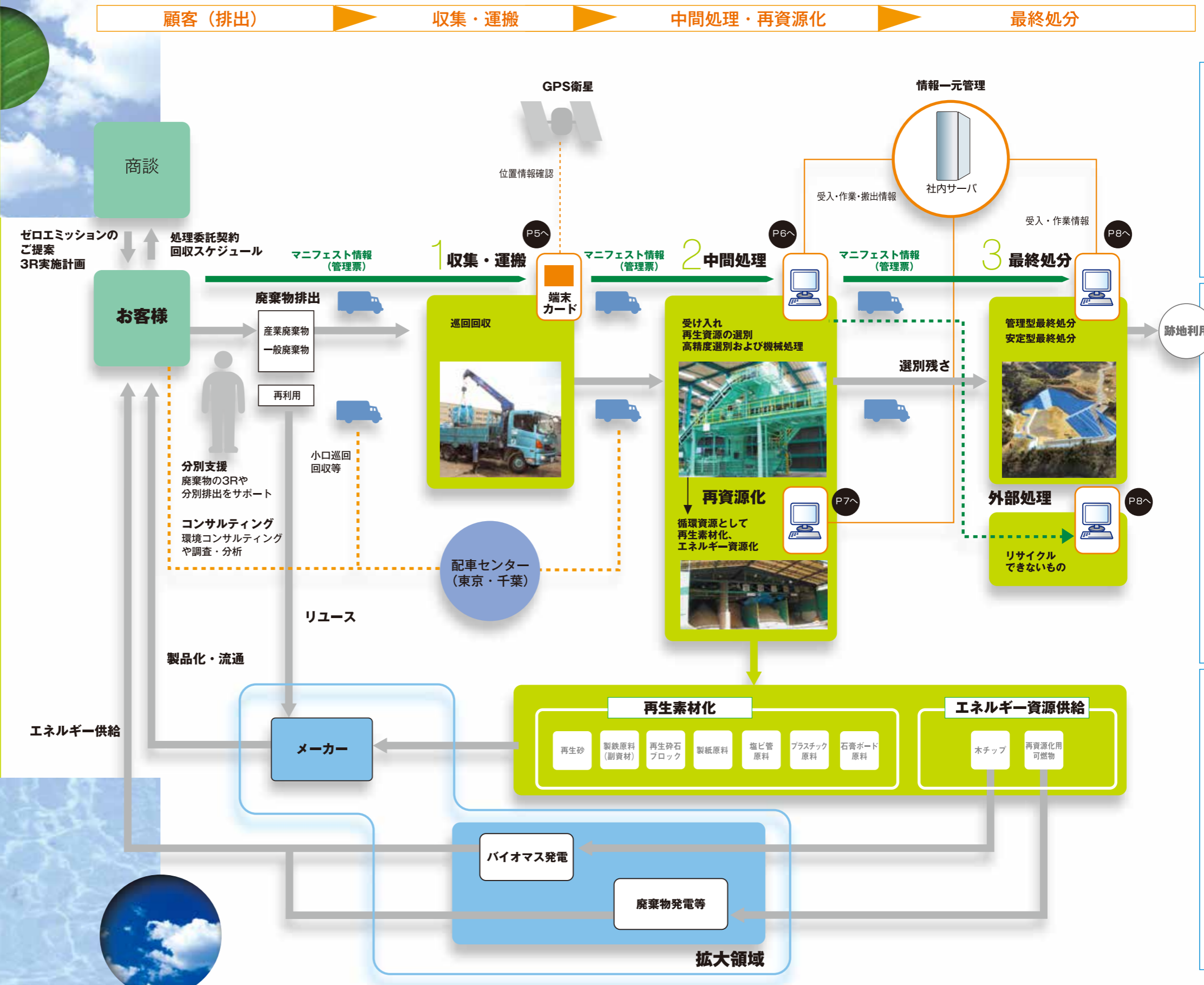


環境ソリューション事業の 多面的拡大イメージ



廃棄物の収集・運搬から再資源化・最終処分まで、一貫処理システムを実現。

タケエイの一貫処理システムは、1.廃棄物の収集・運搬、2.選別・破碎・圧縮等の中間処理による再資源化・エネルギー化、3.選別残さの最終処分等の3つのステージから構成されています。特にリサイクルの要である「再資源化・エネルギー化」では、廃棄物を再生品として蘇らせる「マテリアルリサイクル」と、木質バイオマスや再資源化用可燃物から熱エネルギー等を回収する「サーマルリサイクル」を積極的に推進。協力企業などと幅広く連携しながら、先進的な廃棄物の資源循環システムを構築しています。また、再資源化の困難な選別残さについては、厳格な安全管理体制による最終処分場等で、適正な処理を行っています。タケエイでは、再資源化に力を入れた高い品質の一貫処理システムを実現することで、お客様にご満足いただける万全の体制を整えています。



処理情報の透明性(トレーサビリティ)
安心・安全
高次リサイクル・再資源化

主な事業内容

- 産業廃棄物の収集運搬業、処分業(再生含む)
- 一般廃棄物の収集運搬業、処分業(再生含む)
- 廃棄物処理に関するコンサルティング
- 巡回回収車による産業廃棄物の小口回収
- 巡回回収車による金属・ダンボール・古紙の小口回収
- 廃棄物処理施設に係る企画設計、コンサルティングおよび施設の管理運営の受託
- 廃棄物のエネルギー転換、資源化、減量化のための調査・研究、技術開発
- 廃棄物を原料、燃料とした製・商品の企画開発、加工および販売
- 最終処分場の開発・運営・維持管理
- 総合解体工事業
- 廃棄物処理実績の分析・管理
- 再生可能エネルギー発電事業



1

事業内容紹介

**分別容器のご提案から、
最適な車両の配車まで、
ご要望に合わせた収集運搬作業を行います。**

収集・運搬

- 廃棄物の分別サポート
- 廃棄物の回収・積込作業
- 中間処理工場への運搬
- 電子マニフェスト対応

1.

分別容器設置・配車

お客様に廃棄物の保管場所を確保いただき、専用容器への分別をご提案します。回収スケジュールや排出状況に応じた最適な車両の配車を行います。



廃棄物の分別保管



配車センター

2.

回収・積込作業

タケエイの運搬車両が廃棄物の回収に伺います。回収作業は、周辺状況に配慮しながら安全第一で行い、積み込まれた廃棄物の性状等を確認の上、マニフェスト（廃棄物管理票）を受領します。



積込作業



マニフェストの受取・確認

3.

運搬

委託契約に基づき中間処理工場への確な運搬を行います。運搬中は荷台にシートをかぶせ、廃棄物の飛散・落下を防止します。安全運転を心がけ、待機時はアイドリングストップをするなど、環境に配慮しています。



シートがけ



運搬

先進的な物流サービスを目指しています。

運行管理システム・ エコドライブ推進プログラムの活用

タケエイでは、収集運搬に伴う車両運行管理について、業界内でも先進的にIT化（システム化）を進め、個々の乗務員の運行記録を的確に把握し、効率的配車や燃費の向上によるCO₂の削減、適切な運転姿勢評価による安全性の向上を図っています。また、現場レベルにおいても、自主整備・点検の徹底による車両の磨耗低減、エコドライブ活動の推進等に取り組み、燃費向上を通じて地球にやさしい運転を心掛けています。

乗務員教育の充実

タケエイでは、お客様に最も身近に接する乗務員の業務能力の向上を図っています。例えば、「タケエイノート（乗務員用）」や、各種の研修を通じて、接客マナーや業務知識のレベルアップを目指しています。また、安全運転については、全乗務員に適正診断を実施し、診断結果の課題について、綿密なフォローを実施しています。



2

事業内容紹介

**高精度な選別システムで、
再資源化率を高め、
最終処分量を低減します。**

中間処理

- 受入検査で廃棄物の性状を確認
- 手降ろし、粗選別、ライン選別による再生資源の選別
- 機械選別システムによる高度精選別と再資源化のための機械処理
- 電子マニフェスト対応

1.

受入検査・計量

受入エリアで、マニフェスト（廃棄物管理票）と廃棄物の性状や危険物等の確認を行った後、トラックスケールで計量します。



マニフェスト確認



計量

2.

手降ろし・粗選別・ライン選別

搬入された廃棄物は、手降ろしエリアおよび粗選別エリアで大まかに選別されます。さらにベルトコンベアによるライン選別では、熟練した作業員がきめ細かな選別作業を行います。この段階の丁寧な精選別作業が、リサイクル率の向上につながります。



手降ろしエリア



ライン選別

3.

機械選別システム

前工程を経た細かな廃棄物をさらに選別するために、風力や振動式のふるい機械による選別作業を行います。機械選別システムの工程を経ることで、リサイクル率の向上はもちろん最終処分量の大幅な低減を実現しています。



機械選別設備 (1)



機械選別設備 (2)

4.

再資源化機械処理

一連の工程によって品目毎に精選別された廃棄物は、再生素材やエネルギー資源としてメーカー等へ搬出するために、品質基準に沿って、破碎、圧縮、梱包等の再資源化のための機械処理が行われます。



コンクリート処理施設

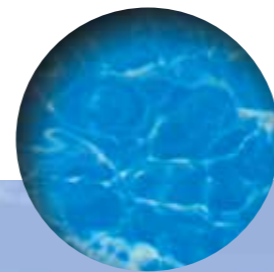


木くず処理施設

再資源化

多彩な再生技術をさらに究めて
廃棄物の「再生素材化」「エネルギー化」を
すすめてまいります。

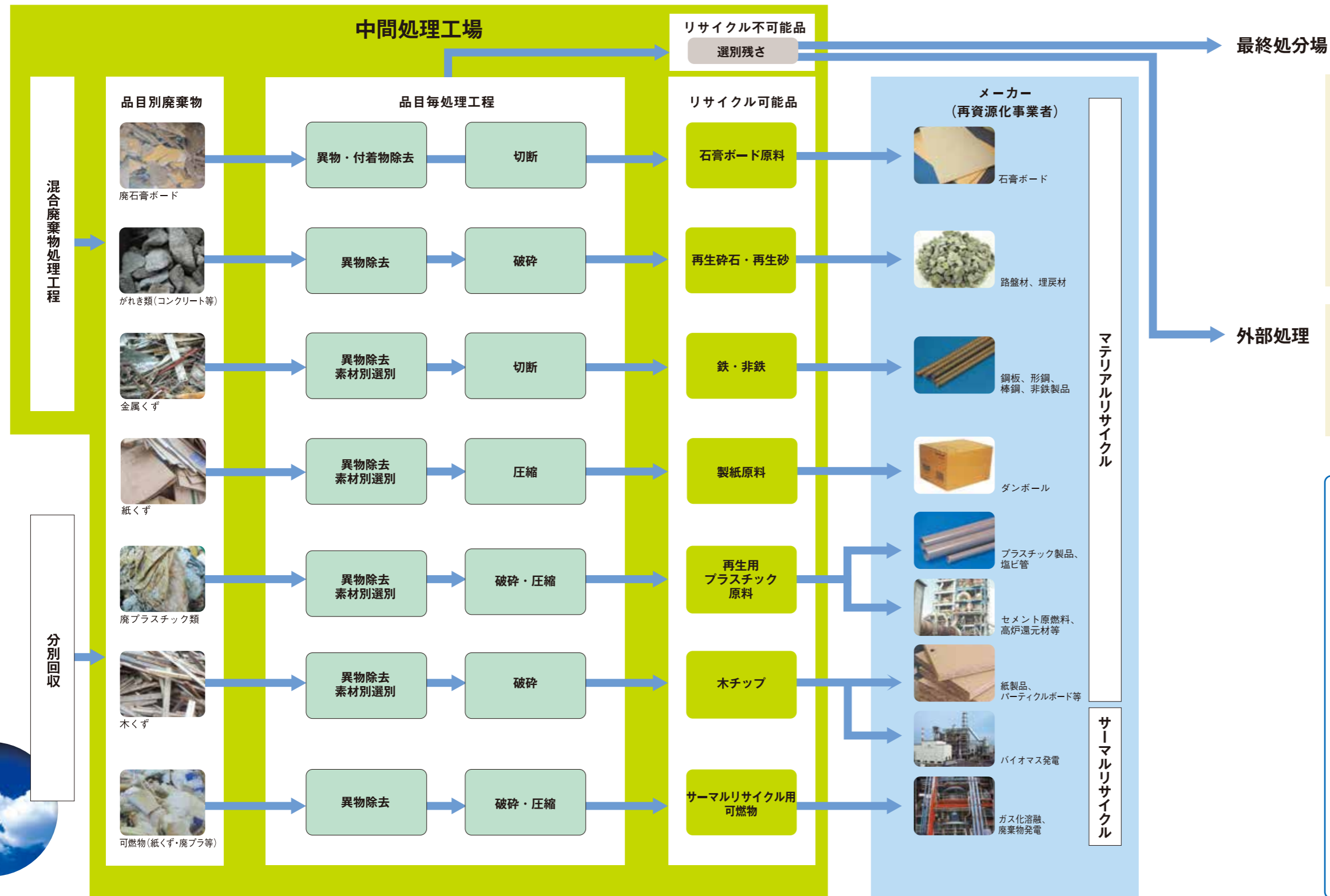
品目毎に選別された廃棄物を再生素材化するほか、発電等のエネルギー資源として再資源化します。
タケエイでは、グループ内に石膏ボードなどの再生素材化事業会社を展開しています。さらに、再資源化品を原材料としてメーカーに出荷しています。



最終処分
(適正処理の完結)

環境負荷を徹底的に抑えた
最高レベルの最終処分を
行います。

再生の難しい廃棄物は、自社最終処分場で埋立て処分を行います。タケエイでは、環境への負荷を徹底的に排除した最終処分場を管理・運営しており、地域住民の方々からの信頼をいただきながら、安全・確実な最終処分を行っています。



自社最終処分場

お客様より委託された廃棄物処理サービスを完結するにあたり、リサイクルの難しい選別残さの二次処理を、廃棄物の性状に合わせて、外部へ委託するケースもあります。外部処理先の選定にあたっては、処理委託先を厳格に調査・検討しています。選定後も、書類の確認だけでなく、処理工程の現地確認等、定期的を実施しています。

環境保全への取り組み

●ISO認証取得

タケエイは、環境保全への取り組みを確実にするため、1998年、業界に先駆けて品質マネジメントシステムの国際規格である「ISO9001」を取得しました。さらに2001年には、環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」の認証を取得しました。



●エコ・ファースト - 環境大臣認定企業 -

タケエイグループは、「業界の環境先進企業として選定された企業が、環境保全に関する行動を更に促進していくこと」を目的として2008年4月に環境省が創設した「エコ・ファースト制度」について、産業廃棄物処理業界における第1号として、2008年11月11日、環境大臣より認定を受けました。

サポート事業
内容紹介

建設業向け
ソリューション

豊富な実績を活かして、
建設現場のリサイクル推進と
トータルコスト削減をお手伝いいたします。

分別サポート

「何をどう分別したらよいか分からない」
現場の悩みに、タケエイの分別支援スペシャリストがお応えします。

建設現場のみなさまへ
分別方法の支援活動を行います

廃棄物のリサイクルには、排出場所での適切な分別も大切です。タケエイではお客様のご要望により各現場へ分別支援スタッフを訪問させ、「何をどのように分別するか」、建設現場で働くみなさまに分別方法のデモンストレーション等を行っています。



定期的な勉強会を開き、実際の廃棄物を使った「分別デモンストレーション」などを行います。



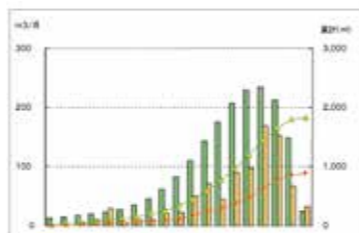
一斉清掃への立ち合い、さらには作業所内を巡回し、各工程に合わせた効率的な分別方法の浸透を図ります。

最適な分別ヤードの提案や、
排出量管理を行います

現場の状況や工程に合わせた分別方法や、ヤードの設置、使いやすい分別容器を提案するほか、日々の排出量を管理し、最適な回収計画を立案します。また、排出量および分別状況の進捗を管理し、トータルコストの削減をサポートします。



正しい分別を促すパネルなども用意し、工程毎に最適な分別方法を提案します。



現場分別による廃棄物削減効果の進捗を管理し、分析データを提供します。

回収サポート

廃棄物の排出量が少ない小規模現場へも、きめ細かく巡回回収をいたします。

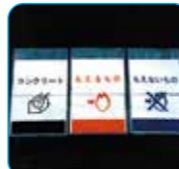
リフォームなどの小規模現場でも
きめ細かな回収作業を行います

改修工事や、戸建て住宅の建設現場など、品目毎の排出量の少ない現場に対しても、1m³や50ℓ単位の小口容器を準備し、きめ細かな巡回回収を行います。小口分別により、リサイクル率が高まると共に、現場はいつもきれいな状態に保たれ、美観が向上します。



ランニングボックス (1m³)

50ℓ袋



巡回回収システムは、小規模現場に最適な分別容器をご使用いただくことで、現場の分別作業を容易にし、きめ細かな巡回回収を実現しています。

ダンプ、コンテナ車、クレーン車など、
現場状況に合わせた車両で回収します

現場の規模や状況、廃棄物の内容に合わせて、最適な車両で回収作業を行います。約250台の専用車両が機動力を駆使し、お客様のご要望に迅速に対応します。



コンテナ車 (2t, 4t)



クレーン車 (3t, 4t, 7t, 10t)



小口巡回回収車

多種多様な運搬車両を用意しています。

1
施設紹介

中間処理
リサイクル

タケエイの
運営施設を
ご紹介いたします。

東京リサイクルセンター
最新鋭の
廃棄物リサイクルセンター

東京リサイクルセンターは、東京都スーパーエコタウン事業の選定を受けた最新鋭の廃棄物リサイクル工場です。粗選別の機械（ロールスクリーン式機械選別ライン）化、水だけを使用し磨砕洗浄した砂品の製造、集塵ダストを利用した製鉄副資材（エコ・フォーム）の製造と、先駆的な素材化工場の役割を担っています。

※2015年の合併に伴い、株式会社リサイクル・ピア東京エコタウン工場から、株式会社タケエイ東京リサイクルセンターに名称変更しました。

許可番号：東京都 第1320003455号
処分方法：中間処理 [破砕、圧縮・梱包、切断、圧縮固化]

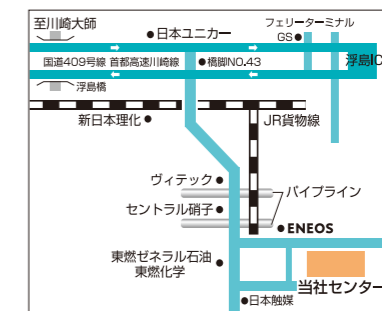


〒143-0002
東京都大田区城南島3-4-3
TEL.03-5755-8811
FAX.03-5755-8815

川崎リサイクルセンター
資源循環型社会を担う
国内最大級のリサイクルセンター

川崎リサイクルセンターは、処理能力3,143t、敷地面積41,056m²を誇る国内最大級のリサイクルセンターです。川崎臨海部に好立地し、24時間365日受け入れのお客様本位の施設体制で、誠心誠意のサービスを提供しています。場内は、精選別とリサイクルを行う混合廃棄物処理施設と、木くず・金属くず・コンクリートを処理・リサイクルする品目別専用棟で構成され、高いリサイクル率を可能としています。

許可番号：川崎市 第05720003455号
処分方法：中間処理 [破砕、破砕・機械選別、破砕・圧縮、圧縮、切断]



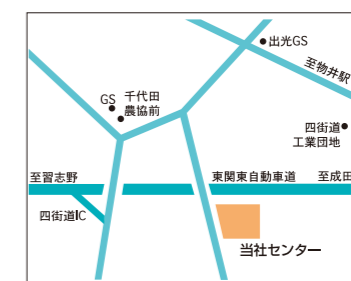
〒210-0862
神奈川県川崎市川崎区
浮島町10-11
TEL.044-280-1587
FAX.044-288-2685

四街道リサイクルセンター
再資源化技術の粋を集めた
リサイクルセンター

四街道リサイクルセンターは、混合廃棄物処理プラント、木くず破砕プラント、コンクリート再生プラントの3つのプラントからなります。木くず再生プラントでは廃木材をチップ化し、建築用資材原料・製紙用原料・燃料用として再資源化しています。コンクリート再生プラントでは、搬入されたがれき類（コンクリートガラ）を再生砕石に製品化しています。さらに金属プレス機・紙くず圧縮梱包機・風力選別設備等を用い、再資源化を行っています。また、四街道市内で発生する一般廃棄物の不燃ゴミは、当センターでリサイクルしています。

※「発電利用に供する木質バイオマスの証明に係る事業者（27全木リ関003）」に認定されています。

許可番号：千葉県 第01240003455号
処分方法：中間処理 [破砕、圧縮]



〒284-0021
千葉県四街道市長岡272-1
TEL.043-424-1021
FAX.043-424-1022

2

施設紹介

最終処分



成田最終処分場

自然環境とのよりよい調和を果たす
品質管理と安全管理

成田最終処分場は、2009年に最終処分場の許可を取得しました。長年に渡る処分場運営により培われた経験を活かし、将来へ不安を残さない安全性の高い施設運営を行っています。また、常に安全管理技術のレベルアップを図り、品質管理面からも、環境負荷を最小限に抑えた処分場を目指しています。

許可番号:千葉県 第01240003455号
処分方法:最終処分【埋立(安定型)】

〒286-0821 千葉県成田市大室字高台1100-2 TEL.0476-36-6571



2009年撮影

大木戸最終処分場

安全性の高い施設運営と徹底した情報公開

大木戸最終処分場は、安全性の高い施設運営に裏付けられる徹底した情報公開や、地域住民との交流を図るなど、最終処分場におけるモデル的運営に努めています。

許可番号:千葉県 第05530003455号
処分方法:最終処分【埋立(安定型)】

〒267-0057 千葉県千葉市緑区大木戸町1197-5 TEL.043-295-8841



2021年撮影

3

施設紹介

跡地利用



株式会社タケエイエナジー&パーク タケエイソーラーパーク成田 再生可能エネルギー電気の実現 太陽光発電施設

2014年、タケエイ成田最終処分場に隣接する最終処分場跡地を利用して、太陽光発電を開始しました。経済産業省より、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法の規定に基づく発電設備として認定を受け、電力会社と固定価格買取制度（FIT）による直接契約を結び、売電しています。

〒286-0822 千葉県成田市芝 1431-22



株式会社タケエイエナジー&パーク タケエイエコパークゴルフ大木戸 地域のコミュニケーションと 健康づくりに貢献

2009年にオープンしたタケエイエコパークゴルフ大木戸は、千葉市郊外の大木戸第一最終処分場跡地を利用しています。地域のみなさまのコミュニケーションや健康づくりの場としてご好評いただいています。また、国内最大規模の「日本パークゴルフ協会杯全日本パークゴルフ大会・交流大会」も開催されました。

〒267-0057 千葉県千葉市緑区大木戸町1172-3 TEL.043-205-2760



ネットワーク

再生可能エネルギー 事業拠点一覧

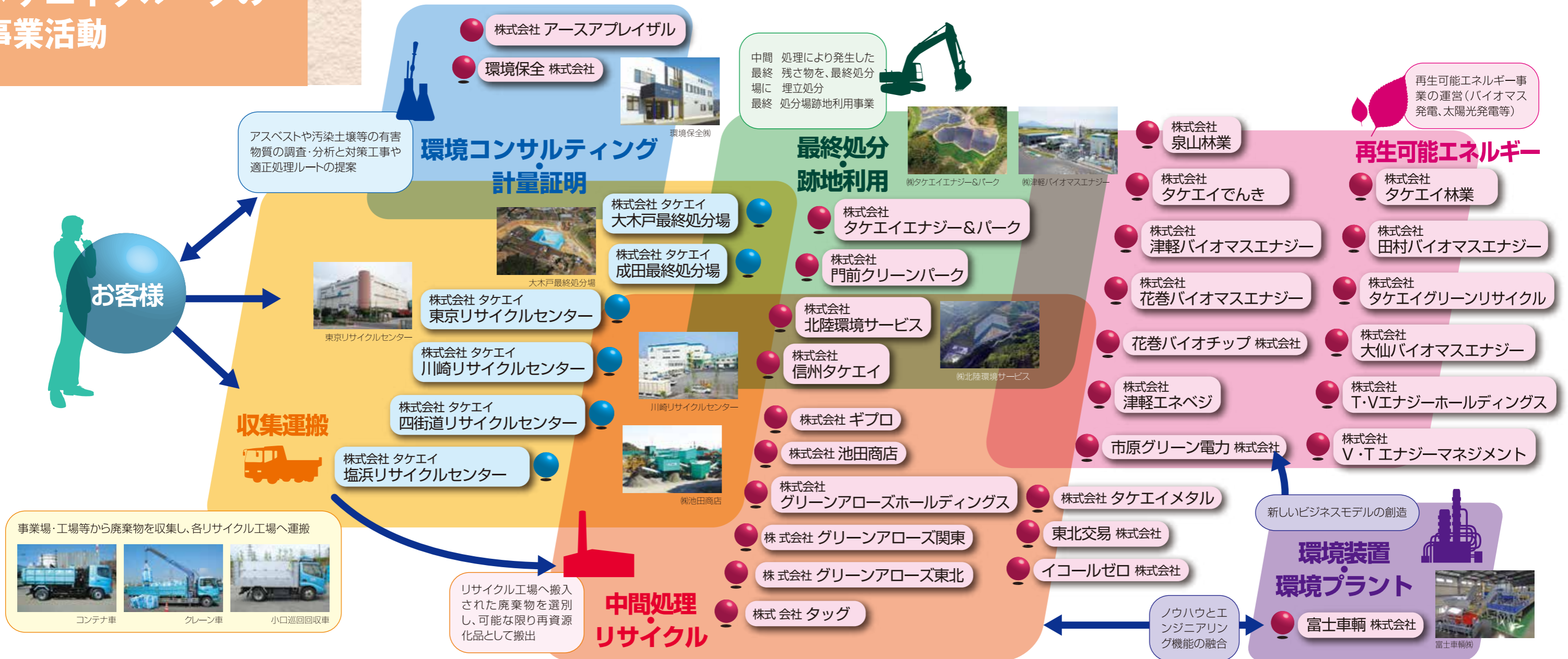


タケエイグループでは森林間伐材等を燃料とした木質バイオマス発電所を6ヵ所(東北地方4ヵ所、首都圏2ヵ所)運営しています。また、燃料チップ製造工場や小売電気事業、余熱を利用した農林業等にも取り組んでいます。





タケエイグループの事業活動



環境コンサルティング・計量証明

汚染土壌やアスベスト等の環境リスクが企業経営に及ぼす影響を分析・評価するとともに、調査から対策・工事・管理等リスクに対する一貫したソリューションを提供します。また、水質・大気・放射性物質など、さまざまな環境分析・計量証明も行い、適正処理ルートも提案を行います。



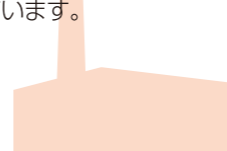
収集運搬

建設現場や工場から出る産業廃棄物を収集し、リサイクル工場まで運搬します。排出場所の多様な環境や条件に対応できるようにさまざまな種類の分別容器や車両を提供するほか、廃棄物の分別方法にお困りのお客様に、「分別支援チーム」による現場サポート体制を構築しています。オフィスや店舗、家庭から出る一般廃棄物や粗大ごみも回収しています。



中間処理・リサイクル

機械や重機を使った廃棄物の選別、さらには人の手による選別を繰り返すことにより、リサイクルの量と質を向上させ、最終処分場での埋立量を低減しています。リサイクル可能な廃棄物は、それぞれの品質基準に従い、破碎・圧縮等の工程を経て、再生素材やエネルギー資源として出荷します。また、「廃石膏ボード」「コンクリートガラ」「金属くず」「木くず」等を、単品専用工場でもリサイクルしています。



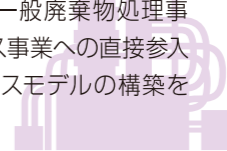
最終処分・跡地利用

中間処理・リサイクル工場等で発生する「再資源化に適さない廃棄物や残さ物」は、最終処分場で埋立処分を行います。最終処分場では法令や条例等の規制を遵守することはもちろん、独自の厳しい基準で水質管理を徹底することで有害物質の流出を防いでいます。また、タケエイエナジー&パークでは、パークゴルフ場や太陽光発電事業を運営し、最終処分場の跡地利用を促進しています。



環境装置・環境プラント

環境装置や特殊車両の開発・製造・販売を手がける富士車輛は、1925年の創業以来お客様のニーズにお応えすべく、時代とともに新たな技術を開発・創造しながら、信頼される製品の提供とそのサポートに取り組んできました。富士車輛のエンジニアリング機能と廃棄物処理に関するタケエイグループのノウハウを融合させ、新たなリサイクル手法の技術開発を行い、将来的には環境事業の海外展開や一般廃棄物処理事業等の公共サービス事業への直接参入など、新たなビジネスモデルの構築を目指しています。



再生可能エネルギー・発電

これまでの中心事業である廃棄物処理・リサイクルから領域を拡げ、資源エネルギー事業にも取り組んでいます。間伐材・剪定枝等を自ら集め発電し、売電するバイオマス発電事業を行っています。私たちタケエイグループは、地域の課題解決・活性化、雇用の創出、地産地消型エネルギーの創出と、再生可能エネルギーへの対応、CO₂削減など、地域・自然環境全般に貢献できる事業をこれからも拡大・発展させていきます。

